1995年8月10日第三種郵便物許可（毎週1回水曜日発行）2016年11月11日発行 増刊通巻第6904号SSKS 月刊きょうされんTOMO No.440付録

きょうされん第40回全国大会 in 北海道実行委員会事務局・広報局　発行　第3号

# つなげよう時計台の街から

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目5-1 社会福祉法人さっぽろひかり福祉会内事務局
TEL:011-743-3009 / FAX:011-731-0211

2016年9月11日、12日に札幌コンベンションセンター特別会議場で、北海道支部の2016きょうされん全道大会inさっぽろが開催されました。この度の全道大会は来年度に開催されるきょうされん全国大会 in 北海道に向けたプレ大会としておこなわれました。ほとんどの支部役員・運営委員が全国大会を経験したことがないことを踏まえ、全国大会を強く意識した大会となりました。大会後の実行委員会では、北海道における情勢課題や、本番に向けたステージ企画、歓迎交流会会場の見直し、大会会場までの地下鉄やバスにおける車椅子への合理的配慮や、会場におけるトイレや休憩所への配慮など、たくさんの意見が交わされ討論を重ねました。

## 基調講演「平和で映える障害者権条約」

講師：きょうされん専務理事　藤井　克徳　氏

「いま日本の障害者施策に求められているのは、批准した障害者権利条約に真摯に向き合い条約のレベルの施策を講じることである。しかし、わが国では憲法解釈を一政権が変更したり憲法「改正」をもくろみ、障害者分野を含む社会保障施策が軒並み縮減されてきている。70年前の悲惨な戦争の時代を再びくり返そうとする動きがある中、三度の調査で訪れたドイツでの障害ある人々が大量に殺害された「T4作戦」の事実を伝え、これからのわたしたちに求められていることは何か考え合いたい」として、NHKで放送された内容も交えて講演をしていただきました。

## 仲間の感想「命の価値を知ったきょうされん全道大会」

あかしあ労働福祉センター第３作業所　利用者　近藤未来子

2016年9月11日と12日、私は「あかしあ」の代表として札幌に行った。1日目のきょうされん・藤井専務さんのお話が好きだった。相模原の障害者大量殺人の話や、ナチスの「卍マーク」の話。ナチスの時代、ヒトラーは障害者のことを、「金ばかりかかる無駄な命」とか考えた。精神障害や身体障害などの障害で入院している病院に、ナチスから手紙が届く。退院の見込みはあるか？労働力として使えるか？退院の見込みもなく、労働力としても使えない障害者には、十字架のような「卍マーク」がつけられる。卍マークをつけられた人はバスに乗せられてガス室に押し込められ殺され、死体は火葬される。卍マークは死の証だ。つけられた者は殺されるのだ。「価値のない無駄な命」相模原の犯人もそう言っていた。

たしかに、私たち障害者は普通とは違う。人に迷惑をかけたり、不快なことをしてしまうこともある。でも、みんな心をもっている。障害をもっていても、みんな同じなんだ。「あかしあ」に行くと、優しかったり、怒ったり、笑ったりする。それがとてもうれしい。私たちは、価値のない命なんかじゃないし、私ははっきりそう言える。命の価値を知ることができた全道大会でした。私はこれからも「なかま」を大切にしたい。そう思いました。ありがとうございました。

※「あかしあ通信」１０月号より

シンポジウムでは7名のシンポジストを招き、北海道における障害者施策の課題について討論しました。障がい者条例が施行され6年が経過し、障害のある道民のくらしは、これによって少しでも変わったことが実感できたのでしょうか？さらにこの間、2014年にはわが国が障害者権利条約を批准したり、今年度には障害者差別解消法が施行されるなど、周辺の環境は前進しているかのように思われますが、果たしてこれから障害のある人たちの未来は、本当に明るい展望があるのでしょうか？それぞれの立場から、率直に意見交換がおこなわれました。

夜の歓迎交流会では大会テーマソングをみんなで歌いながら北海道ならではの美味しいジンギスカンや海鮮をいただき交流を深

利用者分科会②では、きょうされん全国大会in熊本で来年度の北海道大会をアピールするために横断幕をみんなでつくました。今回参加できなかった全道の仲間からも声を集め、周りに貼り付けました。全道大会閉会式では、横断幕をステージで披露し、北海道支部利用者部会「どさんこファイターズ」会長である柳澤敏郎さんの「みんなで頑張ろう！」の掛け声に力強く「おー！」とみんなが応え、来年に向けて結束を固めました。

10月22・23日の2日間にわたり熊本市できょうされん第39回全国大会が開催され、北海道からは20名がお揃いのラベンダーカラーの北海道大会Tシャツを着て参加しました。閉会式では、熊本実行委員会より来年の大会にしっかりとバトンを引き継ぎ、全国利用者部会長である林優子さん、北海道利用者部会長である柳澤敏郎さん、北海道大会実行委員長である北村典幸氏の3名から来年の大会アピールをしてきました。大会アピールの最後には北海道支部のみんなで作成した動画を流し、来年度への引き継ぎをしてきました。

きょうされん第40回全国大会in北海道は、
たくさんの方々から支えられて開催されます。
感謝申し上げます。
※大会協賛金のお願い用紙等はホームページから
ダウンロードが可能となっております。
http://kyosaren-hokkaido.jimdo.com

「きょうされん北海道」で検索！